



平成 23 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ リ ン 堂
代 表 者 名 代 表 取 締 役 寺 西 忠 幸
会 長 兼 社 長
(コード番号 2660 東証・大証第一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 井 村 登
(TEL. 06-6394-0039 (代表))

平成 23 年 2 月期通期業績予想の修正及び特別損失発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 9 月 24 日に公表しました「平成 23 年 2 月期（平成 22 年 2 月 16 日～平成 23 年 2 月 15 日）」の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたします。また、当社並びに当社連結子会社において、特別損失を計上する見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正（平成 22 年 2 月 16 日～平成 23 年 2 月 15 日）

①連 結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 9 月 24 日)	100,600	770	1,150	10	0.88
今回修正予想 (B)	100,465	1,118	1,537	188	16.13
増 減 額 (B-A)	△134	348	387	178	
増 減 率 (%)	△0.1	45.3	33.7	1,784.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	104,964	1,232	1,527	△443	△39.14

②個 別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 22 年 9 月 24 日)	93,500	1,030	1,410	390	34.42
今回修正予想 (B)	93,200	1,264	1,630	482	42.56
増 減 額 (B-A)	△299	234	220	92	
増 減 率 (%)	△0.3	22.8	15.6	23.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	96,928	1,453	1,780	29	2.62

2. 通期業績予想の修正理由

①連 結

現在、当社グループは、「顧客第一主義」の徹底をテーマに、中長期的な成長基盤の確立と企業価値向上に向け、従業員の意識改革を図るための教育、組織・店舗・システムの構造改革をスタートさせております。

具体的には当期から、(1)店舗力の強化（現場中心のマネジメント体制の確立による営業組織の活性化）、(2)店舗オペレーションの効率化（徹底したセルフ売場づくり — 改装タスクフォースによるレイアウト・売場変更による買いやすい売場の実現など）、(3)販売手法の変更（EDLP 化へのシフトなど）を行い、既存店活性化対策に取り組んでまいりました。

売上高におきましては、前回の予想をやや下回っておりますが、粗利率の改善並びにコストコントロールを経営の根幹に置き、収益の確保に努めた結果、営業利益・経常利益・当期純利益いずれも、前回予想を上回る実績値となる見通しであります。

②個 別

個別業績の修正につきましても、主として連結業績と同一の要因によるものであります。

3. 特別損失の発生及びその主な内容

①連 結

退職給付制度のうち適格退職年金制度に係る部分につき、平成 23 年 2 月 1 日に確定拠出年金制度へ移行したことから、退職給付制度改定損 148 百万円が発生する見込みであります。

また、当社及び当社連結子会社が所有している店舗設備等の一部について減損損失 441 百万円、不採算店舗の閉鎖に伴う店舗閉鎖損失 149 百万円等が発生する見込みであります。

以上により、当連結会計年度におきましては、合計 839 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

②個 別

・子会社株式評価損について

当社個別業績上、当社連結子会社である(株)ジェイドラッグの株式について、子会社株式評価損として 25 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

なお、連結業績におきましては、子会社株式評価損は連結処理上消去されるため、特別損失への計上はございません。

・当社個別業績におきましても、連結と同様、退職給付制度改定損や減損損失、店舗閉鎖損失等を特別損失として計上する見込みであります。

以上により、通期の個別業績におきましては、764 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(注) 1. 当社（連結・個別）は、平成 23 年 4 月 1 日に通期決算発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。

2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上